

## ■ 統計・資料 ■

### 展覧会別観覧状況

区 分	常 設 展	特 別 企 画 展		所 蔵 品 展	計	たんけん 文学館	母と子の 文学のつどい
	北海道文学の 流れ	北海道の俳句	久保栄と北海道	船山馨の 文学世界		手島圭三郎の 絵本の世界	作るよろこび、 知るたのしみ
開催日数	292日	33日	34日	52日	292日	15日	10日
観覧者総数	13,491人	1,249人	1,248人	1,660人	17,648人	2,417人	341人
有 個 人	一 般	7,122	803	697	1,305	9,927	
	高大生	673	11	19	44	747	
	小中生	1,603	25	7	22	1,657	
	小 計	9,398	839	723	1,371	12,331	
料 団 体	一 般	1,510	118	194	56	1,878	
	高大生	411	13	118	12	554	
	小中生	107	1	0	2	110	
	小 計	2,028	132	312	70	2,542	
無 料	2,065	278	213	219	2,775		
合 計	13,491	1,249	1,248	1,660	17,648		

### 閲覧室利用状況

区 分	人数・件数	1日平均
開 室 日 数	292日	
利 用 者 数	5,548人	19.0人
レファレンス件数	216件	0.7件
資料閲覧件数	230件	0.8人

### 事業種別来館状況（総括）

区 分	利用者数
展覧会事業	17,648
閲覧事業	5,548
講演会・セミナー事業	560
文芸映画上映会事業	440
その他の教育普及事業	2,417
財団独自事業	657
計	27,270

## 資料収集状況

区 分	購入点数	受贈点数	受託点数	特別資料内訳		
				区 分	購 入	受 贈
図書	845	1,253	0	原稿	38	5
雑誌	460	4,187	0	書簡	46	3
VTR・テープ	13	4	0	色紙・短冊	9	59
特別資料	93	174	0	その他	0	107
レプリカ	15	0	0	計	93	174
計	1,426	5,618	0			

## 主な購入特別資料一覧

種 別	作 家 名	資 料 名	形 態	数 量
書簡	子母沢 寛	高橋信吉宛	封書	1 (便箋)
書簡	亀井勝一郎	淀野隆三宛	原稿用紙	1 (400字詰)
書簡	亀井勝一郎	淀野隆三宛	原稿用紙	3 (200字詰)
自筆原稿	伊藤 整	『石狩川』の碑	原稿用紙	6 (400字詰)
書簡	島木 健作	内田巖宛	封書	2 (便箋)
自筆原稿	伊藤 整	解説	原稿用紙	11 (400字詰)
書簡	伊藤 整	谷崎潤一郎宛	封書	2 (便箋)
書簡	伊藤 整	宮内寒弥宛	はがき	1
書簡	伊藤 整	中河与一宛	はがき	1
書簡	伊藤 整	火野葦平宛	はがき	1
書簡	島木 健作	小林茂 (創元社) 宛	封書	1
書簡	森田 たま	山本栄吉 (中央公論社) 宛	封書	1 (便箋)
書簡	森田 たま	山本栄吉 (中央公論社) 宛	封書	2 (便箋)
書簡	森田 たま	山本栄吉 (中央公論社) 宛	封書	1 (便箋)
書簡	森田 たま	山本栄吉 (中央公論社) 宛	原稿用紙	2 (200字詰)
書簡	森田 たま	山本栄吉 (中央公論社) 宛	封書	1
書簡	森田 たま	山本栄吉 (中央公論社) 宛	はがき	4
書簡	森田 たま	山本栄吉 (中央公論社) 宛	エアメール	1
書簡	小熊 秀雄	南江二郎 (大阪中央放送局) 宛	原稿用紙	4 (400字詰)
自筆原稿	伊藤 整	昨年度文壇回顧	原稿用紙	4 (400字詰)
自筆原稿	伊藤 整	長篇小説雑感	原稿用紙	11 (400字詰)
書簡	八木 義徳	竹内良夫 (読売新聞社編集局) 宛	封書	2 (便箋)
書簡	八木 義徳	竹内良夫 (読売新聞社編集局) 宛	はがき	7
自筆原稿	更科 源蔵	描かれたアイヌ風俗	原稿用紙	60 (200字詰)
自筆原稿	和田 芳恵	発起人とは	原稿用紙	7 (400字詰)
書簡	久保 栄	松本克平宛	はがき	2
書簡	久保 栄	山川幸世宛	はがき	1
書簡	島木 健作	川上喜久子宛	はがき	6
自筆原稿	竹内てるよ	私たちは打つ	原稿用紙	2 (400字詰)

種 別	作 家 名	資 料 名	形 態	数 量
自筆原稿	中村 光夫	「伊藤整氏の生活と意見」にたいする意見	原稿用紙	4 (400字詰)
書簡	吉田 一穂	岡崎清一郎宛	はがき	8
自筆原稿	竹内てるよ	鮎のしろがね	原稿用紙	3 (400字詰)
自筆資料	竹内てるよ	生きたるは一つの愛…	色紙	1
自筆資料	松窓 乙二	蛍のあとさゆるま	書幅	1
自筆資料	臼田 垂浪	(画帖をとりはずしたもの)	色紙	5
自筆資料	藤森 成吉	そのかみの…	色紙	1
自筆原稿	渡辺 茂	コタン神話その他	原稿用紙	50 (2-400字)
書籍	渡辺 茂	子供の科学 付録16-5	地図	1
自筆資料	時雨 音羽	出船の港	書幅	1
自筆原稿	小金井喜美子	洞爺湖詠草	折り帖	6
自筆資料	中村武羅夫	百忍	書幅	1
自筆原稿	有島 武郎	想片	原稿用紙	1 (400字詰)
自筆資料	斎藤 玄	狩眼抄	句稿	1
書簡	留岡 幸助	吉田忠雄宛	はがき	1
自筆資料	吉田 一穂	白鳥	書幅	1
自筆資料	吉田 一穂	鳥跡汀	扁額	1
自筆原稿	渡辺 茂	僕は冷たい礦塊である	原稿用紙	15 (400字詰)
自筆資料	渡辺 茂	第2号	ノート	1
自筆資料	渡辺 茂	朔北児4	ノート	1
自筆資料	渡辺 茂	雑記帳(詩の表現法)	ノート	1
自筆資料	渡辺 茂	津軽路の旅	ノート	1
自筆原稿	渡辺 茂	木枯の歌	原稿用紙	88 (400字詰)
自筆原稿	渡辺 茂	港街	原稿用紙	11 (400字詰)
自筆資料	渡辺 茂	粉碎都市	ノート	1
自筆原稿資料等	渡辺 茂	「さとぼろ」記録全	原稿用紙その他	
自筆資料	中村武羅夫	峠路の上り下りやつゝお咲く	色紙	1
自筆資料	亀井勝一郎	心得たと…	書幅	1
自筆原稿	渡辺 茂	江刺の半次郎その他	原稿用紙	62 (400字詰)
書籍	渡辺 茂	子供の科学 付録22-1	地図	1
書簡	留岡 キク	吉田さわ子宛	はがき	1
自筆原稿	渡辺 茂	濁流を逆行する船頭	原稿用紙	11 (400字詰)
自筆原稿	渡辺 茂	居酒屋で	原稿用紙	18 (400字詰)
自筆原稿	渡辺 茂	力強く生きたい つねに正義への責任を感じて	原稿用紙	30 (400字詰)
自筆原稿	渡辺 茂	静かなる愛	原稿用紙	26 (400字詰)
自筆資料	渡辺 茂	雑記帳(わらべうた)	ノート	1
自筆資料	渡辺 茂	雑記帳(時事ピラ1)	ノート	1
自筆資料	渡辺 茂	朔北児6	ノート	1
自筆資料	渡辺 茂	朔北児7	ノート	1
自筆資料	渡辺 茂	雑記帳(中国旅行)	ノート	1
自筆資料	渡辺 茂	雑記帳(近頃都市山村…)	ノート	1
自筆資料	渡辺 茂	雑記帳(民俗学聞き取り)	ノート	1
自筆資料	渡辺 茂	雑記帳(数字の羅列)	ノート	1

## 所蔵品展「船山馨の文学世界」出品目録（以下のうち、中見出しは各コーナーのタイトルを示す。）

北海道新聞文化賞授賞式の自筆挨拶原稿（昭和55年11月）／パンフレット「北海道新聞文化賞」（昭和55年）／吉川英治文学賞授賞式の挨拶自筆原稿（昭和56年4月）／パンフレット「吉川英治文学賞要項」／吉川英治文学賞記念品（牌）／取材ノート1冊／船山馨自装本19冊／佐藤忠良画2点（鉛筆、木炭、額装）／川端康成自筆の書額（船山所蔵品）／自筆書額（阿波野青畝句）／自筆書額（「茜いろの坂」原稿扉）／自筆原稿『石狩平野』執筆にあたって／愛用品3点（文鎮、皿、陶製入れ物）／新聞切り抜き「蘆火野」（朝日新聞昭和47年4月11日～48年6月15日）／佐藤忠良「蘆火野」挿絵原画2枚／『蘆火野』上下（角川文庫）／新聞切り抜き「風の中の翅のように」（公明新聞昭和52年2月1日～12月21日）／『風の中の翅のように』上下（講談社）／新聞切り抜き「花と濤」（公明新聞昭和49年10月6日～50年12月9日）／『花と濤』上下（角川文庫）／新聞切り抜き「仮装行列」（社会タイムス昭和27年7月20日～12月25日）／『仮装行列』（小説朝日社）

### 「北国物語」の頃

『北国物語』（昭和16年2月 豊国社）／テレビドラマ台本「北国物語」（昭和37年3月 北海道放送）／創作覚え書きノート1冊／自筆草稿「レビュー台本 白薔薇の唄」／「其中会雑誌」（昭和6年2月、「ありふれた悲劇」掲載）／「新劇壇」（昭和10年10月、「夕闇街道」掲載）／「演劇新論」（昭和11年10月、「地流」掲載）／「演劇新論」（昭和12年3月、「蠅殺家の息子たち」掲載）／「演劇新論」（昭和13年8月、「湖のうた」掲載）／雑誌切り抜き「運算」（「文学者」昭和15年9月掲載）／『衣装』（昭和16年7月 通文閣）／徳田秋声『光を追うて』（昭和14年3月 新潮社、サイン本、船山所蔵品）／新聞切り抜き「縮図」（都新聞昭和16年6月28日～9月15日 船山所蔵品）／「新潮」（昭和16年11月号、「旅の果」掲載）／自筆原稿「旅の果」『稚情歌』（昭和21年1月 創美社）／『青年芸術派 新作短篇集』（昭和16年2月 明石書房 「信天翁譚」を所収）／『裾野』（昭和18年9月 皇民社）／『除夜の扇』（昭和18年7月 皇民社）／日記3冊（昭和15年、16年、17年）／新聞切り抜き（昭和28年7月7日北海道新聞）／『蘆荻』（昭和22年7月 講談社）／雑誌コピー「葬儀日記」（「藝苑」昭和21年3・4月合併号）

### 混乱の淵から

「次元」（第1巻2号 昭和23年6月、椎名麟三と船山の対談掲載）／『半獣神 第一部』（昭和23年9月 中央公論社）／雑誌切り抜き「半獣神 第二部」（「風雪」「日本評論」昭和25年～26年）『浅草慕情』（昭和23年10月 新太陽社）／『仮装行列』（昭和28年3月 小説朝日社）／雑誌切り抜き「明日も夜から」（「別冊文藝春秋」109号 昭和44年9月）／「仮装行列」作品ノート新聞切り抜き「喪失の季節」（国際タイムス昭和23年1月～4月）／『笛』（昭和22年1月 文化書院）／「次元」（創刊号 昭和23年5月）／「次元」（第1巻4号昭和23年9月）／「次元」（第1巻5号 昭和23年11月）／「藝苑」（昭和21年6月号）／「人間」（昭和22年7月号「落日の手記」掲載）／「新潮」（昭和22年10月号 「現在」掲載）／『人間復活』（昭和24年1月 実業之日本社）／新聞切り抜き「人間復活」（朝日新聞昭和23年7月12日～10月10日）椎名麟三への自筆弔辞原稿（昭和48年3月）

### 開花する船山文学

「石狩平野」取材ノート／自筆原稿「石狩平野」／ポスター1枚（『石狩平野』出版宣伝用）／『石狩平野』出版記念会の発起人一覧と案内状（昭和42年9月）／講演会「石狩平野と私」招待券1枚（昭和42年9月 北海道タイムス社主催）／「エセス通信」（4号 昭和43年、大河テレビドラマ「石狩平野」の宣伝ニュース掲載）

／南田洋子自筆書簡／『石狩平野』(昭和42年8月 河出書房新社、船山のサイン入り)／写真1葉(昭和39年7月当別町にて)／自筆原稿「お登勢」原稿「お登勢あらすじ」／「お登勢」新聞校正と割り付け(毎日新聞)／「お登勢」創作ノート／『続お登勢』(昭和48年11月 毎日新聞社)／写真1葉(テレビドラマ「お登勢」)／音無美紀子自筆書簡／ポスター1枚(『続お登勢』出版宣伝用)／印刷物1枚(文学碑「お登勢」碑文)／書き込みメモ(ジュール・ブリュネに関するもの)／写真1葉(ジュール・ブリュネ近衛砲兵大尉)／パンフレット「蘆火野」(平成元年10月帝劇公演)／台本「蘆火野」(NHK日曜名作座)／新聞切り抜き「蘆火野」1枚(第20回目)／佐藤忠良「蘆火野」挿絵原画1枚／「蘆火野」執筆用資料2点／H・ルフェーヴル『パリ・コミュニケーション』上下(昭和46年岩波書店)／『夜の傾斜』(昭和42年9月 河出書房新社)／台本「夜の傾斜」(テレビドラマ テレビ朝日制作)／「夜の傾斜」創作ノート／『放浪家族』(昭和45年11月 河出書房新社)／台本「放浪家族」(テレビドラマ 毎日放送制作)／『見知らぬ橋』上下(昭和49年 講談社)／「見知らぬ橋」創作ノート／『花と濤』上下(昭和51年3月 河出書房新社)／台本「花と濤」(テレビドラマ NET制作)／ポスター1枚(「花と濤」テレビドラマ放映宣伝用)／自筆書額「雪河亭」

### 多彩な人間探求

創作ノート(「野望」の構想案／『野望』(昭和33年9月 光風社)／『背徳のよろこび』(昭和34年4月 和同出版社)／『落日の門』(昭和39年5月 河出書房新社)／『幕末の刃影』(昭和50年8月 河出書房新社)／『炎の氷河』(昭和39年11月 青樹社)／『海の壁・兜町殺人事件』(昭和38年8月 河出書房新社)／『螺旋階段』(昭和47年3月 双葉社)／自筆原稿「薄野心中」／自筆原稿「幕末剣士伝第7話 沖田総司」／『その影を砕け』(昭和38年12月 河出書房新社)／雑誌切り抜き「恋愛魔術師」(「新青年」昭和25年1月号掲載)

### 末期のまなざし

新聞切り抜き1枚(公明新聞昭和52年1月16日「風の中の翅のように」連載のお知らせ)／自筆原稿「風の中の翅のように」／『風の中の翅のように』上下(昭和53年9月 新潮社)／新聞切り抜き「茜いろの坂」(三社連合 昭和54年10月17日～55年6月30日)／『茜いろの坂』上下(昭和55年9月 新潮社)／自筆メモ「茜いろの坂」3枚／吉永小百合自筆原稿／日記「樹里庵割記」自筆色紙／佐藤忠良自筆弔辞原稿(船山宛)／八木義徳自筆弔辞原稿(船山宛)／春子夫人あて弔辞原稿／川西政明『孤客』(昭和57年8月 北海道新聞社)／佐藤忠良『茜いろの坂』表紙原画2点

### 船山の書斎

机(高見順から送られたもの)／スタンド／時計(『船山馨小説全集』完成記念)／ラジオ付き時計／陶製ジョッキ／筆／筆箱(鎌倉彫り)／硯／墨／水差し／木製民芸品／湯のみ／茶托／文鎮／灰皿／爪楊枝入れ／ホッチキス／敷物／ペン皿／はさみ／ゴム印(住所、氏名)／所蔵本3冊／川端康成自筆書軸／机上図(長男真之が描いた船山の机の配置図)

### 船山宛書簡

中山義秀葉書／中山義秀『故里の土』／佐多稲子葉書／佐多稲子『女の宿』／夏堀正元葉書／夏堀正元『霧笛の街』(船山宛署名入)／埴谷雄高葉書／埴谷雄高『戦後の文学者たち』／司馬遼太郎葉書／司馬遼太郎『草原の記』／渡辺淳一葉書／渡辺淳一『パリ行き最終便』(船山宛署名入)／小松伸六書簡／小松伸六『美を見し人は』／八木義徳書簡／八木義徳『一枚の繪』(船山宛署名入)／田宮虎彦書簡／田宮虎彦『愛のかたみ』

／和田芳恵葉書／和田芳恵『暗い流れ』（船山宛署名入）／有馬頼義葉書／有馬頼義『生存者の沈黙』／北杜夫葉書／北杜夫『白きたおやかな峰』（船山宛署名入）

### 船山馨自装本リスト

衣裳	1941. 7	通文閣	箱（蓋つき）	212 P
北国物語	1941. 12	豊国社		350 P
幸福幻想	1942. 12	肇書房	箱	295 P
除夜の扇	1942. 7	皇民社	箱	286 P
稚情歌	1946. 1	創美社		179 P
笛	1947. 1	文化書院	箱	253 P
風と虹の物語	1947. 4	世界社		213 P
愛の孤独	1947. 9	共立書房	箱	260 P
魔術師	1948. 1	文化書林	箱	244 P
雨季	1948. 4	銀座出版社	箱	238 P
喪失の季節	1948. 8	実業之日本社	箱	310 P
（脱落 1 回分の原稿付き）				
忘却の河	1948. 8	高島屋出版部		227 P
落日の手記	1948. 9	新潮社	箱	273 P
半獣神 第一部	1948. 9	中央公論	箱	339 P
魔の時間	1948. 10	新太陽社	箱	287 P
黄昏人間	1948. 11	改造社	箱	239 P
贗物語	1949. 1	実業之日本社		206 P
人間復活	1949. 1	実業之日本社		262 P
夜の雅歌	1949. 4	河出書房	箱	271 P
（坂本一亀編集）				